



文教大学 父母と教職員の会

会報105号

発行 文教大学父母と教職員の会 発行日 平成24年9月11日
〒343-8511 越谷市南荻島3337
越谷 ☎048-974-8811 FAX. 048-977-7791
湘南 ☎0467-53-2111 FAX. 0467-54-5721
ホームページ <http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/> e-mail fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp



越谷レイクタウンの水辺

目次

第27回代議員会	… 2 ～ 4
会長就任にあたって	… 5
役員・事務局一覧	… 5
平成23年度決算及び 平成24年度予算	… 6
都道府県のページ (第15回熊本県支部)	… 7
湘南キャンパス一日大学	… 8 ～ 9
越谷キャンパス一日大学	… 10 ～ 11
新シリーズ①～学長から 「文教大学での35年の 教員生活で考えたこと」	… 12
支部派遣教職員報告 その⑦	… 12
宮城県支部総会	… 13
新潟県支部総会	… 13
学内訪問「どんなところ？」	… 13
湘南校舎 施設課	… 14
学生支援室開設のお知らせ	… 14
学生活動紹介	… 14
体育祭実行委員会(越谷)	… 15
ライフセービング部(湘南)	… 15
支部総会一覧	… 16
お知らせ	… 16

第27回

代議員会

本年度の代議員会が、6月2日(土)午後1時半より、昨年度と同じ会場、越谷校舎12号館12101教室にて開催された。全国44支部中、42支部から支部長または代理の参加があり、昨年と同様の盛況であった。高橋一弘副会長の開会宣言で始まり、小林会長、大橋顧問(学長)の挨拶、惠羅事務局長の挨拶と出席者の紹介に続いて、議長に根根副会長・関運営委員が選出され、議事に入った。議事進行は以下の通りであった。

- ①平成23年度事業・活動報告
 - ②平成23年度決算報告・会計監査報告
 - ③新役員承認
 - ④規約改正
 - ⑤平成24年度事業・活動計画
 - ⑥平成24年度予算
 - ⑦校友会加入について
- (①と⑤)の内容は後に掲載)
- その他、愛知県支部前支部長 権田智昭様より寄贈された「人間愛」の書のお披露目、新役員の紹介と前支部長等への感謝状、記念品の贈呈が行われ閉会した。

全体として滞りなく提案、質疑が行われ、全ての審議事項が全会一致で承認可決された。

その後、恒例の『学長主催パーティー』が、3号館2階にて阿川・乳井運営委員の司会のもと行われた。法人から石田学園長、渡辺理事長、大学から主催者の大橋学長、俣野大学事務局長をはじめ多くの教職員会員の方々、また、藍蓼会から安岡会長も出席され、代議員の方々と交流を深めることができ、例年以上に盛況な会となった



権田前愛知県支部長寄贈の書のお披露目

平成23年度 事業・活動報告

前回(第26回)代議員会で承認された各計画事項に沿って実施されたことが報告され、了承された。以下が議案(報告)の概略である。

【重点活動項目】

1. 財政健全化
昨年度から始まった会費納入用紙配付の新方式の効果について、分析・検討を行った。
2. 中・小規模支部の活動支援の強化
活動充実強化特別委員会、支部長研修会などで相談、提案。地域ブロック単位でのイベント開催の可能性の追求。
3. 『父母のための大学ガイドブック』の編纂
右記ガイドブック編纂。平成23年度の1年生から配布。
4. 本会と大学との連携
大学からの委託化が可能な事業の可否を検討・交渉。
5. 特別委員会
活動充実強化特別委員会においてガイドブック発行等、諸規程検討特別委員会において規約・諸規程の見直しや検討を行った。
6. 東日本大震災の被災会員および支部への援助

被災会員援助は総額3,022,800円。総件数71件。(宮城15件、岩手1件、福島47件、茨城5件、千葉1件、新潟1件、栃木1件)
被災支部にお見舞いなどの支援。

【継続活動項目】

7. 支部活動への支援
支部総会・研修会への教職員を派遣し、特に就職状況についての情報提供に努めた。
- 支部交付金交付(6月、1月)
- 支部への宛名シール発送(述べ32件)
- 北海道、京都・滋賀、兵庫・大阪・奈良支部の懇談会は、本部で企画実施。
8. 会報・オリオン通信の発行と父母教ホームページの運営
会報は年3回発行。
- ホームページの充実をはかった。
- 支部長向けに「オリオン通信」、支部長・本部役員・全教職員向けに「父母と教職員の会通信」を発行。
9. 「父母のための一日大学」の開催
6月5日、越谷・湘南両キャンパスで実施。
10. 会員への生涯学習機会の提供
「父母のための一日大学」等で会員に役立つ生涯学習の機会を提供。
- 生涯学習センター等の有料講座・講習会に参加する会員に費用の1割程度



議事進行の様子

を援助。(3件)

11. 会員子女への援助

・生涯学習センターの有料講座・講習会に参加する会員子女に費用の1割程度を援助。(20件)

・キャリア支援課が主催する有料講座・講習会に参加する会員子女に費用の1割程度援助。(16件)

12. 学生活動への援助

・学生活動一般援助金支給。
(合計：220,000円)

・全国大会等に参加のクラブ・サークルに学生活動特別援助金支給。
(合計：421,750円)

13. 就職対策への援助

神奈川・埼玉県支部共催、全会員に

開かれた「親と子のための進路問題研修会」のために、会場・講師の確保等の便宜をはかった。

14. 学生生活への援助

突発的事由で経済的負担が増加した会員の子に援助。(2件)

15. 代議員会の開催

6月4日(土) 越谷キャンパスで開催。関係各課の協力により、入試・教務・生活・就職等についての詳細な資料を作成し配布。

16. 支部長研修会の開催

11月12日(土)・13日(日) 湘南キャンパスで開催。

17. 学生への本会の広報

・オリエンテーション時の配付物等で、学生に父母教の存在と活動を知ってもらう努力をした。

・湘南キャンパスで行われる推薦入学新入生保護者向け事前説明会に協力した。

18. 会員データベースの検討

会員の個人情報、本人承諾の上、データベース化する予定であったが検討中。

19. 藍蓼会(同窓会)・県人会との連携の強化

・藍蓼会の活動に積極的に協力。藍蓼会主催「ご退職される教職員を送る会」への参加。3支部(岩手、山形、三重県各支部)において、藍蓼会と合同で支部総会を開催した。

る会」への参加。3支部(岩手、山形、三重県各支部)において、藍蓼会と合同で支部総会を開催した。

20. 学生保険と保護者保険の募集

学生の24時間のケガと損害賠償を補償する学生保険と、保護者の病氣・事故を補償する保護者保険(無事故戻し付き)の募集について、東京海上日動火災保険株式会社および三井住友海上火災保険株式会社と事務委託契約書を締結し、それぞれから事務費を受領した。

平成24年度 事業・活動計画

昨年は東日本大震災があったにもかかわらず、平成22年度から始まった会費納入新方式の効果も継続し、本会の会費収入は順調に伸びてきた。この傾向が継続するよう、事業内容の一層の充実を図り、会員の満足度を高めることが求められる。

【重点活動項目】

1. 財政基盤のより一層の安定化を図る

・一昨年度から行われている現行の会費納入方式の維持。
・広報活動(本会紹介印刷物等)を作成し、加入促進の媒体として活用

する。

2. 支部単位での活動の活発化を図る

各支部の総会や研修会、講演会等の企画を一層充実させる方策を検討する。

①支部総会・研修会への教職員派遣。(原則 越谷・湘南1名ずつ)

②支部総会・研修会における面談・講話、特に就職状況についての情報を提供する。

③支部交付金を交付する。

④要望により宛名シールを発送。

⑤支部の事情によつては、支部会合を本部にて企画・運営・援助する。

3. 就職対策への援助を強化する

①大学両キャンパスのキャリア支援課と連携し、学生の就職活動への有効な支援を検討し実行する。

②支部総会・研修会にキャリア支援課の協力を仰ぐ等の支援をする。

③神奈川・埼玉県支部共催、全会員に開かれた「親と子のための進路問題研修会」に協力する。

4. 文教大学学園の「校友会」と協力し、大学との連携を図る

平成24年度発足予定の「文教大学学園 校友会」への加入の可否を検討し、学園各組織との連携を深める。

5. 会員および学生の活動援助を強化する

広報を強化するなどして、これらの制度が有効活用されるよう努める。

6. ホームページの充実を図る
本会のホームページをリニューアルし、充実した内容となるよう努め、ホームページ委員会（仮称）の設置をする。

【催事計画】

7. 代議員会の開催

① 6月上旬に越谷キャンパスで開催。
② 関係各課の協力により、入試・教務・生活・就職等についての詳細な資料を作成し配付する。

③ 父母教の運営委員、代議員（支部長）と教職員との交流と親睦をはかり、一層充実に努める。

8. 支部長研修会の開催

① 11月中旬に湘南キャンパスで開催。
② 支部運営等に役立つ研修を行う。

9. 「父母のための一日大学」の開催
① クラス・ゼミ担任の教員と保護者との懇談会の充実をはかる。

② 両キャンパスそれぞれの特色を活かした企画・実施に努める。

③ 保護者・教職員の親睦をはかる。

④ 学生の部活動やサークル活動等の日頃の活動を紹介する。

⑤ 平成25年度にむけて保護者の意向をより活かす一日大学のあり方を検討する。

【会員へのサービス】

10. 会員への生涯学習機会の提供

生涯学習センター等の有料講座・講習会に参加する会員に1割程度を援助する。（一講座4千円を限度）

11. 会員子女への援助

① 生涯学習センターの有料講座・講習会に参加する会員子女に1割程度（一講座4千円を限度）を援助。

② キャリア支援課主催の有料講座・講習会に参加する会員子女に1割程度（一講座4千円を限度）を援助。

12. 学生活動への援助

① 学生の課外活動や様々な活動への援助をする。

② 全国大会等に参加し、成果を達成したクラブ・サークルに学生活動特別援助をする。

13. 学生生活への援助

突発的な事由等により、経済的負担が増加した会員の子女に援助する。

14. 「父母のための大学ガイドブック」配付

今年度入学された学生の保護者の方々へ、「父母のための大学ガイドブック」を編纂し配付する。



学長主催パーティー

ガイドブック委員会（仮称）の設置をする。

【広報活動】

15. 会報・オリオン通信の発行と父母教ホームページの運営

① 「読みやすい会報」をスローガンに年3回発行。

② 本会ホームページでの随時新着情報の配信等、利用促進をはかる。

③ 支部長向けに、代議員会（および支部長研修会）等の必要事項を『オリオン通信』として発行。

④ 支部長に「父母と教職員の会通信」を通して運営委員会の内容を報告。

16. 学生への本会の存在と活動の広報
① オリエンテーション時の配付物に

父母教の案内を同封する等。
② 湘南キャンパスの推薦入学新入生保護者向け事前説明会への協力。

【その他】

17. 特別委員会設置

よりよい活動を推進するために、必要に応じて特別委員会を設置する。

18. 藍蓼会（同窓会）・県人会との連携の強化

① 「退職される教職員を送る会」等の藍蓼会の活動に積極的に協力する。

② 学生の県人会開催等、掲示板等を利用して学生に呼びかけ、県人会と支部との仲立ちをする。

19. 学生保険と保護者保険の募集

学生の24時間のケガと損害賠償を補償する学生保険と、保護者の病氣・事故を補償する保護者保険（無事故戻し付き）の募集について東京海上日動火災保険株式会社および三井住友海上火災保険株式会社と事務委託契約書を締結し、事務費を受領する。



会長就任にあたって

高橋 一弘



6月2日の代議員会でご推挙いただきました。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひいたします。「父

母教」には副会長として2年間足を運んで参りました。本学は昭和2年に創立されてから今年で85年を迎え、この節目の年に改めて気を引き締めて皆様と一緒に本学の発展と学生の将来のために全力で頑張っていくと思っています。

社会では、去る2月29日に自立電波塔として世界一を誇る東京スカイツリーが竣工され、この年に会長を仰せつかるのは何かの縁と早速海拔450メートルの雲上と錯覚するほどの天空の圧倒的な高さを体験し、日本のいや人間の技術の高さに感激いたしました。学業で頑張っている文教大学の学生には、是非ともこの世界一というものの意味と社会的影響を考えたいただき、将来に向けて大きな心をもって目標に向かって行って欲しいと感じました。

さて、会長就任にあたり会員の皆様にお願ひがごさいます。それは会

員の皆様には学生の進路や就職に関心をもってなるべく大学に足を運んでいただきたいということです。

私たちの時代は大学生になって親が学校に行くの?という時代でした。しかし6月1日の新聞に「熱心・真剣・大学の保護者会」という見出しで某有名2大学の保護者会の様子が掲載されておりました。「就活は3年生や4年生では遅く入学した時が就活のスタートであり授業料を払えば自動的に卒業とは限らない。社会経験の豊富な父母が教師や学生と一緒に進路や資格取得を真剣に顔を突き合わせ考えることにより良い結果につながる。」と、どちらの大学も保護者会には参加者は5千人を超え地方で実施しても同様の傾向と。他の大学は最近になってこのような傾向ですが何と文教大学は既に同様の趣旨で設立された「父母教」が35年以上の歴史をもってあるではないですか。会員の皆様には、是非この「父母教」を有効に利用していただき大学に足を運んでいただきたいと、お願いいたします。就任の挨拶いたします。



平成24年度 文教大学父母と教職員の手 役員・事務局一覧

(平成24年6月現在)

役 割	氏 名	所 属	役 割	氏 名	所 属
顧問	大橋ゆか子	学長	運営委員	二宮 雅也	人間科学部
会長	高橋 一弘	千葉県支部	運営委員	阿川 修三	文学部
会副	吉澤 勝宣	埼玉県支部	運営委員	関 哲朗	情報学部
副会	関根 義昭	東京都支部	運営委員	キャリア・A・テュバル	国際学部
副副	小林 正信	神奈川県支部	運営委員	秋吉美穂子	健康栄養学部
副副	鈴木 健司	文学部・越谷学生委員長	運営委員	相原真佐巳	学長事務室課長
副副	林 薫	国際学部・湘南学生委員長	運営委員	小太刀澄江	越谷教育支援課課長
運営委員	川名 昭	千葉県支部	運営委員	石田 知子	越谷キャリア支援課課長
運営委員	齋藤 浩二	千葉県支部	運営委員	乳井 英太	湘南教育支援課課長
運営委員	増田さとみ	埼玉県支部	運営委員	西澤 秀行	湘南キャリア支援課課長補佐
運営委員	福井 侖子	埼玉県支部	監査委員	石原 章年	千葉県支部
運営委員	横山 和義	東京都支部	監査委員	青山知恵子	東京都支部
運営委員	庭野 正和	東京都支部	監査委員	石田 晴美	情報学部
運営委員	小嶋 均	神奈川県支部	事務局次長	恵羅 博	情報学部
運営委員	柏木あけみ	神奈川県支部	事務局次長	萩原 敏行	教育学部
運営委員	石橋 昭良	人間科学部・越谷就職委員長	湘南事務局協力員	奥田 孝晴	国際学部
運営委員	石井 信明	情報学部・湘南就職委員長	越谷事務局協力員	青山 鉄兵	人間科学部
運営委員	近藤 研至	教育学部・越谷入学センター 副センター長	湘南事務局協力員	宮城 昭彦	湘南事務局部長兼総務課課長
運営委員	佐久間拓也	情報学部・湘南入学センター 副センター長	越谷事務局協力員	望月 洋雄	元越谷校舎事務局職員
運営委員	八藤後忠夫	教育学部	事務局員	多賀 利枝	事務局

文教大学父母と教職員の会 平成23年度決算及び平成24年度予算

【決算】 自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

【予算】 自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

【収入の部】

(単位：円)

科 目	23年度予算額(b)	23年度決算額(a)	比較増減(a-b)	備 考	24年度予算額
会 費 収 入	29,210,000	33,810,000	4,600,000		34,210,000
会 費	25,000,000	29,580,000	4,580,000	正会員会費(1年1,479人、2年1,363人、3年118人、4年98人)計2,998人 @10,000円×2,998名=29,980,000円(送金40件→@10,000円×40件=400,000円) 29,980,000円-400,000円=29,580,000円	※ 30,000,000
教 職 員 会 費	3,710,000	3,710,000	0	文教大学より(越谷・湘南 @10,000円×371名=3,710,000円)	3,710,000
賛 助 会 費	500,000	520,000	20,000	賛助会員 @5,000円×105名=525,000円 (送金1名 5,000円) 525,000-5,000=520,000	500,000
特別活動基金会計より	6,000,000	6,000,000	0	特別活動基金会計より	0
そ の 他 収 入	1,200,000	1,237,267	37,267		1,540,000
雑 収 入	1,200,000	1,237,267	37,267	損保事務代行費988,857円、学長主催パーティー200,000円、利息407円他	1,540,000
当 期 収 入 合 計	36,410,000	41,047,267	4,637,267		35,750,000
前 期 繰 越 金	5,593,350	5,593,350	0		8,324,844
合 計	42,003,350	46,640,617	4,637,267		44,074,844

※10,000円×3,000名=30,000,000円

【支出の部】

科 目	23年度予算額(b)	23年度決算額(a)	比較増減(a-b)	備 考	24年度予算額
事 業 費	29,570,000	26,767,232	-2,802,768		31,120,000
1 事 業 費 A	25,770,000	22,944,302	-2,825,698		27,120,000
特別活動基金組み入れ	0	0	0		2,000,000
学生活動一般援助金	400,000	220,000	-180,000		400,000
就職対策援助金	500,000	450,000	-50,000	越谷キャリア支援課への援助	500,000
会員への援助金	20,000	4,500	-15,500	生涯学習センター主催の有料講座・講習会への参加援助	20,000
会員子女への援助金	200,000	89,600	-110,400	キャリア支援課・生涯学習センター主催の講座・講習会等への参加援助	200,000
父母のための一日大学	1,450,000	1,255,835	-194,165	越谷・湘南キャンパス一日大学に関する全ての諸費用	1,700,000
支部間役員交流援助金	0	138,833	138,833	一都六県支部合同研修会	200,000
父母との懇談会	0	0	0		0
支部交付金	10,000,000	9,814,420	-185,580	支部交付金 会員数に応じて支給 交付単価@1,800円	12,000,000
会報発行費	3,000,000	2,950,129	-49,871	会報発行(年3回)印刷・執筆料・編集費・封入作業費・送料	3,000,000
広 報 費	120,000	106,000	-14,000	HP管理料、藍染祭・登塔祭広告掲載代	800,000
派遣教職員費	3,800,000	3,709,555	-90,445	教職員派遣費用(支部総会・支部研修会 越谷・湘南1名ずつ)	3,900,000
加入促進費	1,000,000	982,630	-17,370	ガイドブック発行、入会の促進にかかる諸費用	1,400,000
学生活動特別援助基金組み入れ	200,000	200,000	0		500,000
学生生活援助基金組み入れ	0	0	0		500,000
震災見舞い金	5,080,000	3,022,800	-2,057,200	会費納入者60,000円×46人、会費未納入者10,000円×25人、送料12,800円	0
2 事 業 費 B	3,800,000	3,822,930	22,930		4,000,000
代 議 員 会	2,000,000	1,975,206	-24,794	第26回代議員会 会議に際する全ての費用及び支部長・教職員(退職者)記念品代 (*大学より懇親会分相金20万円は雑収入へ計上)	2,100,000
支部長研修会	1,800,000	1,847,724	47,724	支部長研修会に関する全ての費用	1,900,000
管 理 運 営 費	11,340,000	11,548,541	208,541		11,880,000
3 運 営 委 員 会 等	150,000	89,384	-60,616	三役会・運営委員会・特別委員会・その他会議費用	150,000
4 旅 費 交 通 費	530,000	462,470	-67,530	三役会・運営委員会・特別委員会等交通費	530,000
5 通 信 ・ 運 搬 費	250,000	222,652	-27,348	切手、電信電話料、宅配便・メール便代他	250,000
6 印 刷 製 本 費	450,000	373,186	-76,814	コピー代、封筒他印刷費用	450,000
7 消 耗 品 費	250,000	302,600	52,600	事務用品、ドラムトナー代、コピー用紙他	400,000
8 事 務 室 備 品 費	200,000	267,405	67,405	会計ソフト年間管理料、パソコン購入代(湘南及び越谷各1台計2台)等	200,000
9 賃 借 料	150,000	32,079	-117,921	FAX・コピー機、印刷機リース料等	150,000
10 人 件 費	8,800,000	9,436,282	636,282	専従職員・非常勤職員給料、事務局協力員手当他	9,400,000
11 雑 費	560,000	362,483	-197,517	金融機関振込手数料、慶弔費(祝金・香典・見舞金)退職者への花代他	350,000
予 備 費	1,093,350	0	-1,093,350		1,074,844
当 期 支 出 合 計	42,003,350	38,315,773	-3,687,577		44,074,844
次 期 繰 越 金	0	8,324,844	8,324,844		0
合 計	42,003,350	46,640,617	4,637,267		44,074,844

平成24年4月7日 監査の結果相違なきことを認めます。

会計監査委員 石田 晴美 印
野本 雅起 印
大竹津江 印

都道府県支部のページ

第15回 熊本県支部の巻



熊本県の教育事情と
文教大学入学生生の動向

熊本県支部長 池福 敏行



熊本県は九州の
ほぼ中央にあり阿
蘇山や天草の海な
ど自然に囲まれた

農業がさかんな県です。気候は概して温暖で、天草は珊瑚礁の北限となり美しい熱帯魚も見ることが出来ます。熊本市周辺は寒暖の差が大きく、夏は35度以上の日も多く、冬は氷点下の日もあります。また梅雨期には集中豪雨が多く、今年も阿蘇などで大きな被害がでています。生活用水はほとんど地下水でまかなっており、水道の水はそのままでもとてもおいしく飲むことができます。今年、熊本市は政令指定都市になり、今後の発展が望まれるところです。私は池田前支部長の後を受けて3年間支部長をさせていただきました。娘が現在教育学部にお世話になっていきます。すばらしい先生方と恵まれた設備、環境が整っている文教大学の学生であることを親として、とてもうれしく思っています。まず

熊本の教育に関する事についてご報告します。

熊本県でも小中高の学校の統廃合が進んでおり、学校数が減っています。子どもの通学にかなり遠くまで行かなければならない等の理由で反対している地元の方々もいます。このような状況で教員採用は少なく、教員採用試験は10倍を超える倍率でした。しかし今年度、熊本市が政令都市になったために、熊本市独自に採用試験を実施することになりました。この採用試験では応募の上限の年齢を59才にしたために、50代の受験者も見られました。

熊本県では熊本市に人口が集中しており、熊本市の教員採用試験の倍率は高くなったものの、熊本県が実施する採用試験の倍率は減りました。この5年間の熊本県から文教大学への入学者数は、表の通り毎年数人と少なくなっており、その中には情報学部が多く、教育・文学は少な



くなっています。ただ昨年度と今年に入学者数が増えており、来年はさらに増加することを期待しています。父母と教職員の会の今年の会員数は入学者4人中3人となっております。入学者とともに増えてきています。

熊本県から大学に進学する生徒は、県内や福岡の大学が多く、関東の大学に入学する生徒は少ない状況です。3年前には小学校教諭の免許が取れる私立大学が熊本市にできました。また、福岡でも小学校教諭の免許が取れることをアピールする大学が増えていることもあり、熊本県から福岡県にはこのような学部がないために、希望する生徒が多いのではないかと思います。

父母と教職員の会の熊本県支部総会の出席については、この総会は大学から先生方をお迎えして話ができる良い機会であると、毎年保護者の方に出席をお願いしているのですが、出席者は数名という状況です。これからの出席の状況が良くなるような方法を考えなければならぬと思います。

このような状況ですが、支部総会

後の懇親会では歴代の支部長さんも出席され、大学の先生方と楽しく過ごすことができました。本年度は4名の元支部長さんが出席されました。大学からは太郎良先生、関先生をお迎えし、色々なお話ができて、楽しい一時を過ごしました。

これからの文教大学及び文教大学父母と教職員の会のさらなる発展を祈念いたします。熊本県支部の会員は少ないのですが、これからも微力ながら応援してまいります。

熊本県出身者の学部別入学者数の推移

(単位：人)

	H20	H21	H22	H23	H24
教育学部		1	1		
人間科学部				1	1
文学部					
情報学部	1	1		4	3
国際学部				1	
健康栄養学部					
合計	1	2	1	6	4

湘南キャンパス二日大学

毎年好評の「父母のための一日大学」が、6月3日(日)湘南キャンパスで開催されました。今年の出席者は、東日本大震災で減少した昨年から回復し、一昨年とほぼ同数の167名でした。保護者の皆様からたくさんのお賞賛の声をいただきました。

学科別懇談会

午前中は、6会場に分かれて学科別懇談会が行われました。各学科のカリキュラムの説明、教育指導方針、就職状況やその支援などの説明や質疑などが、学科長をはじめとする先生方を中心に行われました。

懇親会

学生食堂2階で参加者と教職員の懇親会が開催されました。最初に、吹奏楽部が今年のコングール曲を披露。熱演に保護者の皆様から盛大な拍手が送られました。続いて教職員の紹介があり、バイキング形式での昼食となりました。学科別、近隣の各支部単位のテーブルを囲んで、先生方と保護者の皆様が和やかに歓談することができました。



受付



全体会講演 渡辺孝理事長
『最近の国際経済動向と日銀の役割について』



講話 関哲朗先生
『近くて遠い隣人 モンゴルの人とビジネスを知る』



講話 中島滋先生
『食欲のコントロール-和食の肥満防止効果』



学科別懇談会 国際学部国際理解学科



学科別懇談会 情報学部情報システム学科

全体会議

今年は、文教大学学園理事長の渡辺孝先生による「最近の国際経済動向と日銀の役割について」の題目で講演会が開かれました。会場は満席となり、資料を片手に参加者全員で貴重な講演に聴き入りました。

講話・ゼミ発表・学内見学ツアー

今年の講話は、情報学部・関先生による「近くて遠い隣人 モンゴルの人とビジネスを知る」、健康栄養学部・中島先生による「食欲のコントロール―和食の肥満防止効果―」の2講話でした。

ゼミ発表は、情報学部・日吉ゼミによる「東日本大震災における新聞報道写真の分析」、国際学部・大森ゼミによる「国際競争時代における航空産業」で、いずれも大盛況でした。

また、学生が案内する「学内見学ツアー」も大好評でした。今年は新たに、キャリア支援課による「就職活動におけるご父母の心構え」が加わり、一日大学がより充実した内容となりました。



(M)



国際学部学生によるゼミ発表風景



キャリア支援課『就職活動におけるご父母の心構え』



吹奏楽部演奏



情報学部学生によるゼミ発表風景



懇親会風景



見学ツアー風景 図書館

越谷キャンパス二日大学

6月3日(日)、越谷キャンパスで「父母のための一日大学」が開催されました。天気予報では、雨との予報で心配されましたが、雨に降られることもなく盛大な会となりました。

教室別懇談会

午前中は各学部・学科・専修に分かれ、授業・学生生活そして就職などについての懇談会でした。日頃お子様が指導を受けている先生方に直接お話を聞けるという事もあり、たくさんの方が参加してくださいました。

昼食会

県及び地区に分かれての昼食会でした。同じ県、地区のご父母と昼食をいただきながら、お子様の話題など、楽しく懇談されている光景が見受けられました。

講話とクラブサークル発表

今年の講話は、文学部・三枝先生による「異文化理解と自己理解」

人間科学部・谷島先生による「親と子のコミュニケーション」

教育学部・西先生による「コーラス・ワークショップ」



西先生による「コーラス・ワークショップ」



受付風景



谷島先生による講話「親と子のコミュニケーション」



石橋先生による講話「進路・就職の現状と支援について」



県・地区別昼食会



三枝先生による講話「異文化理解と自己理解」

就職委員長である人間科学部・石橋先生による「進路・就職の現状と支援について」の4つの講話でいずれも盛会でした。

学生によるクラブサークル発表では、管弦楽団・室内合奏団・大道芸サークル Maggie・創作ダンス部・吹奏楽部・合唱団コーリンデ・ピアノアンサンブル愛好会・打組「出津龍」と限られた短い時間の中、8団体が舞台上で日頃の練習の成果を発表してくださいました。

又、アンサンブル Sogno は保護者の方々とコーラスワークショップに参加してください、12号館では茶道倶楽部がお点前を披露しました。

懇親会

学生食堂の2階で「コーラスワークショップ」の成果発表があり、「涙そうそう」と「翼をください」が披露されました。保護者の方と教職員が親睦を図ることができたと思います。

「父母のための一日大学」はお子様の日頃の様子を知り、教職員と親睦を図れるいい機会です。来年もたくさんの方に来ていただけるのを楽しみにしております。(S)



茶道倶楽部による「お点前」披露



人間科学部 全体会



教室別懇談会



「コーリンデ」による合唱



管弦楽団による演奏



創作ダンス部の披露

新シリーズ①

文教大学での35年の教員生活で考えたこと

教育とランキング

文教大学学長 大橋 ゆか子



この3年間、父母と教職員の会顧問の役割を勤めてまいりました。

した。毎月の三役会で役員の皆さんと議論する中で、大学を理解し支援してくださるこの組織の活力を実感し、励まされてきました。

昨年は東日本大震災で被災された皆様にお会いするために、東北地区の支部研修会に参加いたしました。大学は、学園の支援を得て、被災学生さん達に経済的支援を行いました。越谷・湘南両キャンパスの学生さんは、建学の精神「人間愛」を体現して、積極的に災害地でのボランティア活動に取り組んでおりました。復興の道のは長いと思いますが、私どもも、共に歩んで生きたいと思っております。

「教育とランキング」「理科離れ」「女性と仕事」というテーマで書きたいと思っています。今回は「教育とランキング」です。最近、新聞に大学の広告が多いことにお気づきだと思います。受験生人口は増えないけれど、大学の数は少し増えています。経済状況は好転しませんので、受験生は受験校の数を絞ります。そこで、大学は、自分たちの状況を多くの人に知ってもらうために、様々な広報手段を講じる訳です。教育に責任を持って取り組み、その成果を社会に公表することは、大学の義務です。文教大学は志願者や合格者状況等をホームページ（HP）で公表していますが、受験生が集まらない大学はデータを公表しないこともありま

文教大学のHPにも情報公開という項目があり、そこをクリックするといろいろな情報をご覧になることができます。

HPとか新聞・雑誌の広告は、大学が自分から社会に情報を提供するものですが、最近では、企業による大学のランキング企画が増えています。各大学の公開データを集めるのは大変なので、新聞社や受験産業が、大学に様々なアンケートを依頼してきます。そして、そのデータから様々な項目の一覧表をつくり大学ランキングを発表します。ランキングはデータを提供する上では一つの方法ですが、受験生に大学の姿を正しく伝えられるかどうかについては疑問があります。

ランキングは数値化したデータが基になります。教育を比較する数字は何か、これは大学や学部の特徴によって異なります。文教大学の6学部は、専門領域と特徴がかなり異なるため、学部ごとの数値では全国で十指に入る項目がかなりありますが、全学部について集計するとその特徴が消えてしまいます。規模が中くらいで、個性のある学部をもつ大学の宿命だと思えます。コンピュータが発達してデータ処理

が迅速になると、ランキングを作ることは容易になります。私たちがしっかりと自主的に考えてランキングと付き合わない、これに振り回されて、がっかりしたり、無駄なエネルギーを使ったりすることになります。現在、「評価」の重要性が教育以外の社会活動でも注目されています。評価は改善につながる大切な行為であり、おろそかにできません。評価のためには数値化できる項目が選ばれますが、数値化できないけれど本質的な重要度を持つものはかなりあります。そういった要素が切り捨てられないように、私たちはしっかりと考えていかなければならないと思います。

受験生が夏休みのオープンキャンパスに大勢来てくれます。在校生がキャンパスツアーのガイド役で、歩きながら学生生活の質問に答えたりして、文教大学の数値化できない良さを伝えてくれています。また、保護者の皆様の大学に対する評価も、数値化されない情報になると思います。皆様の大学に対する満足度を高められるように、私どもは頑張っていきたいと思っております。

支部派遣教職員報告

その⑦

宮城県支部総会報告

宮城県支部総会に参加して

情報学部教授 坪井 順一



当日は、健康栄養学部の秋吉先生、人間科学部の青山先生と支部総会に出席しました。秋吉先生は食育の問題を豊富な資料を用いて説明されました。脳の発育は乳幼児の時に形成されるといってお話には、会場からもっと早く聞きたかったというため息が漏れていました。

青山先生は「ゆとり教育」に焦点を当て、いつも大人の世代にとつて子どもの世代はだめと言ってきたが、基本的に大人と子どもの関係に大きな変化はないと仰りたかったのだと思います。大人目線で子どもたちをみることを危惧なさっていたように思います。支部総会の折に、講演会のような形で、生涯学習の場を提供することも有意義だと感じました。総会・講演の後、場所を変えて懇親会が行われました。驚いたのは、相澤支部長さんをはじめ、参加者の方たちが東日本大震災

の被害に直接会われた方たちであったことでした。宮城県が大きな被害を受けたことは当然知っていましたが、参加者名簿には出身が書かれていなかったもので、あまり気にしなかったのですが、支部長さん自身が石巻の出身であり、大きな被害に遭われていたこと、また、同じ石巻出身の方で、被災直後、食べるものもなく、寒さに震える中で、新聞紙をまとい寒さを防いだこと、何日か後に支給された何粒かのカンパンがとてもおいしかったことなどお話しを伺いました。大変印象深いお話でした。大震災・津波を体験した人たちだけがわかる意識の共有がなされているのかもしれない。

当日は、気仙沼や大きな被害を受けた他の地域からも出席され、それぞれの被害の報告をなさっていました。みなさん、大震災の影響を感じさせない明るさには頭が下がる思いでした。宮城県だけではなく、今回の大震災・津波で大きな被害を受けた方々の一日も早い復興と心の傷が癒えることを期待しています。

新潟県支部総会報告

新潟県支部総会に参加して

人間科学部専任講師 一宮 雅也



これから書く報告は、当日、ある保護者との出会いを起点として、

2012年7月1日、文教大学父母と教職員の会、新潟県支部総会が長岡市にて開催された。私は、越谷キャンパスの代表として参加した。事前に小林支部長から「先生の専門分野での講演をお願いしたい」との依頼を受けていたため、「現代社会と健康」というテーマでお話させていただいた。

内容は、専門の社会学の立場から「健康」を取り巻く現代社会の状況を概説したものである。「太め、やせ形」といった体型のイメージが作り上げてしまいう「健康」のイメージと、そこに潜む問題点について、糖尿病との関連性から資料等を用いながら展開した。

その後、懇親会に入る直前にある保護者の方から声をかけていただいた。「大変興味深く聞かせていただきまし。実は私は医師をしております」と。私は、正直、「間が悪いな」と感じてしまった。なぜなら、私が展開した話

は「健康に関する社会的通念の怖さ」に焦点を当てているが故に、臨床の立場から病氣と闘っている医師とは、解釈が異なる話として扱われたのではないかと感じたからである。

しかし、その後の懇親会では、楽しく歓談していただき、さらにご自身が執筆した雑誌を研究室にまで送付していただいた。そこには予防医学の立場から「健診とアンチエイジング」というテーマで書かれていた。

私も医師も、健康な社会形成に寄与したいという思いは同じである。日頃研究している成果を保護者の前で具体的にお話することが少ない中で、機会を与えてくれた小林支部長にお礼を述べるとともに、新たな父母教の魅力を感じさせてくださった保護者の皆様との邂逅に感謝したい。



新潟県支部総会の様子

学内訪問 ぐんなんとこころ？」

「縁の下の力持ち」

湘南校舎 施設課

課長 村山 幸広

湘南校舎施設課は、バスロータリーから階段を下り、左手に見える「事務棟」の3階に位置し、現在は4名のスタッフが施設設備の運用に対応しています。

施設課の主な業務は、施設や備品の管理、入学試験や学内行事の会場設営、工事業者の対応、学内の防火・防災管理、防災計画の作成などです。

この他に、学内での物品購入についても施設課が担当しており、教職員が購入を希望する品物について、業者へ見積りの依頼や発注の連絡などを行っています。これらの業務については、施設課だけではなく、清掃や購買など担当している「文教サービス」や、建物の管理を委託している「相鉄企業」の方々にもご協力いただき、運営しています。

施設課では、学生の皆さんの教育環境向上のため、教室内の机や椅子の入れ替え、プロジェクトターなど視聴覚教材の点検や改修を行っています。また、

校舎内のトイレを校舎建設当時のものから新しいものへ改修工事を進めており、生活環境の向上にも取り組んでいます。生活環境の面では、施設のバリアフリー化も進めており、身体障害者用の「多目的トイレ」への改修工事や、建物入口へのスロープ設置、自動ドアへの付け替え、エレベーター増設などにより、車いすの方でも学内を楽に利用できるよう努めています。

施設課は、学生やご父母の方々とする機会がなく、あまり目立たない部署ではありますが、学生の皆さんが安全で快適なキャンパスライフを過ごせるよう、縁の下の力持ちのような存在として、学生生活の支援に尽力して参ります。

施設課は、学生やご父母の方々とする機会がなく、あまり目立たない部署ではありますが、学生の皆さんが安全で快適なキャンパスライフを過ごせるよう、縁の下の力持ちのような存在として、学生生活の支援に尽力して参ります。



湘南校舎 施設課の皆様方

学生支援室開設のお知らせ

平成24年10月より、越谷・湘南それぞれのキャンパスに学生支援室が開設されます。

学生が大学生活上で抱える問題を解決するために必要な支援を実施し、充実した大学生活を過ごせるようにすることを目的に、設置されました。

日頃から「こんなときどうすればいいんだろう：」「誰に聞けばいいんだろう：」等、困っているときに、困っていることを一緒に考えていきたいと思えます。また、内容に応じて、適切な相談先への橋渡しをしていきたいとも思っております。

例えば、「履修について、わからないことがある」「家庭の経済事情が急変してしまった」「大学でやりたいことが見つからなくて」「授業がわからない」「一人暮らしで困っていることがある」「友だちが授業に出てこなくて心配」等々。

また、学生支援室内にはフリースペースも設置されていますので、ひとりでゆっくりしたい時、静かに過ごした

い時、ホッと一息つきたい時、お昼ご飯と一緒に食べる人がいなくてさみしいな：という時、そんな時でもご利用いただけます。

親御さんからのメールや電話での相談もお受けします。どんなことでも、まずはご相談ください。相談についての秘密は固く守ります。

越谷校舎	利用時間：9：00～16：30(月～金) 電話：048-974-8820(直通) e-mail: kgakuseisien@stf.bunkyo.ac.jp 担当：今井・佐藤
湘南校舎	利用時間：9：10～16：40(月～金) 電話：0467-53-2111(直通) e-mail: sgakuseisien@stf.bunkyo.ac.jp 担当：山田・杉本



学生活動紹介

体育祭実行委員会(越谷校舎)

人間科学部 臨床心理学科3年

委員長 坂下 理穂子

私たちが体育祭実行委員は、10月11日(木)に越谷キャンパスで行われる体育祭の企画・運営を行っています。

今年で38回目を迎える体育祭ですが、ここ数年参加団体が減少傾向にあり、参加団体の数を大きな目標に掲げ、実行委員11人で準備を進めています。4月ごろから会議を重ね、どうしたら参加団体が増えてくれるのか、どうしたら体育会以外の参加者にも楽しんでいただけるのかなど様々なことを話し合ってきました。

また、本番が近付いてきてからは、競技の内容を話し合い、前実行委員との引き継ぎ会、体育祭リハーサルを行うってルールや運営を行う上で不備がないかを検討してきました。昨年の反省点や、今年の実行委員の中で出た問題点をどのように改善すると誰もが満足することができる、より良い体育祭に近づけることができるのだろうか、全員で意見を出し合い考えてきました。

当日は参加団体を「赤」「青」「白」「黄」の4色に振り分け、4色対抗戦で行い

ます。種目は「障害物リレー」「騎馬戦」「棒引き」「借り人競争」「追っかけ玉入れ」「ビーチフラッグ」の6種目です。

追っかけ玉入れ、棒引きは今年からの新種目なので、成功するか不安はありますが、楽しんでもらえること間違いなしです！優勝団体には豪華景品も用意しています！

大学生にもなって体育祭なんか：と思う方もいると思いますが、教師を目指している学生が多い文教大学だからこそ体育祭があり、参加してくれる学生が初心に戻り体育祭を楽しんでくれるのだと思います。お時間がいざしたら、学内グラウンド・学内メインアリーナに足を運んでみてください！



体育祭実行委員の皆さん

ライフセービング部(湘南校舎)

健康栄養学部 管理栄養学科3年

名須川 紗綾

私たちがライフセービング部は、湘南校舎の体育会に所属しています。一言にライフセービングと言っても様々ですが、私たちの活動の中で最も大きな活動は、茅ヶ崎市にある海水浴場、「サザンビーチがさき」での監視活動です。7月の海開きから8月31日までの約2ヶ月間、無事故を目標に、夏の炎天下の中、絶えることなく監視活動を続けます。一年の中で監視活動が行われるのは2ヶ月間ですが、この2ヶ月間の無事故を守り抜くために、私たちは一年間を通してプールや海でトレーニングを行っています。プールでのトレーニングは主に泳力を向上させるためにスイムトレーニングをし、海ではレスキュー技術を向上させるトレーニングをします。ライフセービングを行う上で、泳げなければならぬというイメージが強いようですが、ライフセービング部の部員の7割は水泳未経験者です。

私たちのライフセービング活動にはスポーツとしての一面もあります。「いのちを救うスポーツ」として知られて



ライフセービング部の皆さん

いて、主に9月、10月に競技が行われます。競技の全てはレスキュー技術と深く関係していて、「競技のNo.1はレスキューのNo.1」と言われます。そんな中、6月に行われた全日本の競技会において、私たち文教大学ライフセービング部から全日本優勝者を輩出しました。

現在、部員は12名程度ですが日々トレーニングを重ね、より大きな部活となれるよう努力しています。なかなか馴染みのない活動のため、毎年部員を集めることが困難ですが、ライフセービングの楽しさ、海での活動のおもしろさを多くの人に伝え、この文教大学にライフセービング活動を広げていきたいと思っています。

平成24年度 支部総会一覽

開催日	支部名	会場
8/25(土)	北海道	札幌アスペンホテル
7/21(土)	青森	青銀荘
9/23(日)	岩手	ホテル東日本盛岡
7/1(日)	宮城	仙台市情報産業プラザ
9/2(日)	秋田	イヤタカ
7/29(日)	山形	協同の杜
7/22(日)	福島通り	市民プラザ「ビッグアイ」
7/22(日)	福島通り	いわき生涯学習プラザ
8/4(土)	福島会津	渋川問屋
10/14(日)	茨城	ホテルマロウド筑波
8/25(土)	栃木	ホテルニューイタヤ
8/26(日)	群馬	伊勢崎市文化会館
6/30(土)	埼玉	文教大学越谷校舎
6/24(日)	千葉	プラザ「菜の花」
7/21(土)	東京	文教大学学園旗の台校舎
7/21(土)	神奈川	文教大学湘南校舎
7/1(日)	新潟	アトリウム長岡
9/9(日)	富山	富山県民会館
9/22(土)	石川	金沢都ホテル
9/8(土)	福井	武生パレスホテル
8/26(日)	山梨	ホテルやまなみ
8/26(日)	長野	ライフプラザマリオ
8/25(土)	岐阜	高山グリーンホテル
8/26(日)	静岡	クーポール
9/23(日)	愛知	豊橋蕎麦匠「まつや」
8/25(土)	三重	松阪商工会議所
9/1(土)	京都	TKPオアシス京都 ホテル福臨閣
9/1(土)	兵庫	神戸市勤労会館
7/29(日)	和歌山	銀ちろ本店

8/5(日)	鳥取	未定
8/11(土)	島根	サンラポーむらくも
8/26(日)	岡山	アークホテル岡山
8/18(土)	広島	グランヴィア広島
8/18(土)	山口	シユシユ
8/18(土)	徳島	阿波観光ホテル
8/19(日)	香川	JRホテルクレメント高松
9/8(土)	愛媛(高)	道後温泉ふなや
9/9(日)	大分(高)	高知バンフィックホテル
8/19(日)	福岡(高)	福岡リーセントホテル
8/18(土)	佐賀(高)	観光ホテル八千代
8/18(土)	長崎	チサンホテル熊本
9/23(日)	熊本	ホテルメリージュ
8/19(日)	鹿児島	ホテルタイセイアネックス
9/15(土)	沖縄	ホテルロイヤルオリオン

《お知らせ》

『講習援助金の申請』

お済みですか？

父母教では会員と会員子女の皆様がキャリア支援課・生涯学習センターで講習を受けられた場合に援助金をお出ししています。援助金は申請により支払われますので、まだの方は各校舎の父母教事務局へ申請をお願いいたします。特にお子様が何らかの講習を受けていると思われる場合は、未申請の場合もありますので一言お子様に声をかけください。事務局へいらしていただければその場でお支払いできます。

また申請期間は年度内(平成24年4月1日～平成25年3月31日)のみです。ご注意ください。(但し、支払い対象者は会費納入の方のみです。)

「親子のための進路問題研修会」 開催のお知らせ

埼玉・神奈川県支部共催の研修会が今年度もそれぞれのキャンパスにおいて開催されます(12月1・2日)。埼玉・神奈川県支部以外の方もご参加できます。同封の案内をご覧ください、お申込みください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

HPリニューアル!!

9月中旬に父母教のHPが全面リニューアルされます。写真掲載も豊富に新着情報も随時掲載していきます。皆さま是非HPをご覧ください。



連載休止のお知らせ

前事務局長の秋山胖先生にご執筆いただいていた「秋ちゃんに聴け」の連載を都合により休止させていただきますことになりました。秋山先生は今年度で事務局協力員もお辞めになり、今は福島の地でNPOの活動に取り組んでおられます。今後のご活躍にエールを送らせていただくとともに掲載休止のお詫びとさせていただきます。

◆◆ 編集後記 ◆◆

今回の表紙は越谷市のレイクタウンです。ここは某巨大ショッピングセンターで全国的に有名になりましたが、レイクのいわれは写真の調節池です。正式には大相模調整池。市内を流れる3本の川の治水目的で造られ、周辺は遊歩道・棧橋などが整備され、ヨットやカヌーの練習にも使われています。越谷市には海や湖がないので、広々とした水辺は市民の憩いの場となっています。

キャンパスからは少々離れています。一日大学、研修会、学園祭などにお越しの節はぜひ立ち寄ってみてください。(k)